

# ランドスケープのちから

## 04. マスタープラン

株式会社ランドスケープデザイン

植野 紘 / 吉田 謙一

### 骨格としてのランドスケープ・マスタープラン

マスタープランを、広範囲な領域の在り様や仕組みを総体として構想する手法であると捉えると、古くはプラトンの『国家』、ルネサンス期のアルベルティの『建築論』、フィラレーテの『フォルツィンダ』、更にはフーリエの『ファランステール』やハーワードの『田園都市』といった「理想都市」の系譜に通じます。そこでは理想とする社会や都市を「ユートピア」として思い描きながら、空間を分類・配分・再構造化する「記憶術」の技法によって全体が体系づけられてきました。理想都市には、それぞれの時代の理想や価値、その構造や仕組みが、マップや平面図、ダイアグラムとして示されています。

ランドスケープの計画においても、マスタープランは重要です。かつて19世紀ドイツの造園家 Peter Joseph Lenne は、ポツダムプロジェクトで3kmにわたる中心軸のみをつくり都市のランドスケープとしました。その後多くの施設が軸に並び、街が活性化するとされています。基本的な構造を明確で強固なものとするれば、将来多様化・複雑化する環境にあっても安定したランドスケープが実現されることを先駆的に示す事例として知

られています。

ランドスケープでは、人間と自然との「調和」のとれた関係をつくるため、双方の事情や仕組みを理解し互いを「調停」することに価値を置きますが、構造的基盤としての骨格があれば、複雑で多様な自然や私たちの社会を大きな全体として捉え、将来への成長や変化を促し許容する仕組みを考えることを可能とします。この骨格こそがランドスケープのマスタープランであり、都市や地域に実態的な形態を与える大きな源であると言えるでしょう。また時間軸を設けることにより、マスタープランに空間だけではなく時間の拡がりや体系化する役割を与えることを可能とします。

都市や社会の理想は時代の変化に伴い変わりますが、様々な社会課題がある中で現在の私たちの理想や理念を明確にし、わかりやすくビジュアル化されたマスタープランをつくることは、多くの人々と価値や希望を共有し、共感できる未来のランドスケープを実現するために必要不可欠なものだと考えます。神奈川工科大学学生プラザは、学生サービス向上を目指したキャンパス再生計画です。まず8500㎡の芝生広場を計画し、

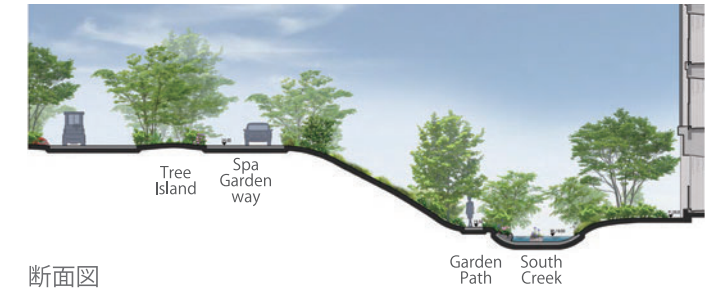
まっさらな大地に都市・建築を描くことを「マスタープラン」と呼ぶとしたら、一通りのインフラが整い、隅々まで人の手がゆき届いた今の日本は、それが描きにくい状況だと言えます。とはいえ近年、都心の大型再開発や、大学キャンパスの再編、団地の再生など、都市再構築のニーズが高まり、新たな「マスタープラン」を求められることも増えてきました。そもそも地形や地歴を丁寧に読み取り、そこに相応しい本質的な環境の在り方を、考え続けてきたランドスケープアーキテクトは、この領域で活躍すべき職能の一つです。ところで

優れた「マスタープラン＝骨格」には、筋の良さが大事です。プロジェクトに関わる多くのステークホルダーが納得し、その価値を長期にわたり持続し育てることができること。すなわち「空間と時間の骨格」が表現されているべきです。コンセンサスにより実現された「マスタープラン」の質は、往々にして鞍部に流れる傾向にあります。土、緑、水、風の流れ、歴史など自然科学と人文科学に裏付けられた「骨格」は、創造者の志の高さそのままに質の高さを持続するでしょう。ランドスケープのちからの好例です。(植野 紘)

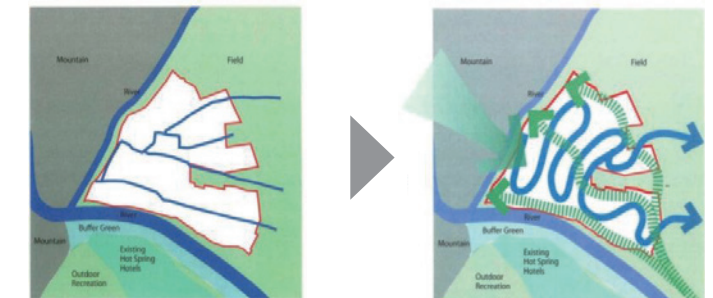
既存校舎の高層化・集約化を進めながら、キャンパス全体の中心としました。この芝生広場を骨格としたマスタープランに基づき、大学では再開発が進められています。キャンパスでの新たな中心として大学全体を統合するオープンスペースであるとともに、丹沢山への景観軸としての役割や旧キャンパス施設の記憶継承の場としてもデザインされています。芝生広場は大学の新たな顔となり、多くの学生が常に集う活気ある風景を創っています。

中国広東省清遠市のKHOS清遠ホテルは、現地で湧き出る温泉を生かした温泉高級リゾートホテルのプロジェクトです。市中央部を流れる北江は珠江デルタの主要な河川ですが、かつて大きく蛇行した河道の変化によって生まれた小河川、ため池、水路等が市街地の景観的特徴となっています。私たちは計画地に流れていた既設水路に着目し、敷地周辺の環境とつながる骨格と捉えてマスタープランを描き、水の流れを付け替えることによって新たな棚田の風景を作り、ホテルのヴィラをつなぐ水景庭園を実現しています。

(吉田 謙一)



断面図



既設水路の改修ダイアグラム



キャンパスの骨格となる学生プラザ



### 神奈川工科大学 学生プラザ

所在地：神奈川県厚木市 / 敷地面積：129,000㎡  
建築設計：KAJIMA DESIGN / 写真：アーバン・アーツ

神奈川工科大学は、厚木市北部に位置する私立理系大学で、機械、電気、化学・バイオ、情報、生命・健康の5学部13学科からなる。創立50周年記念事業としてキャンパス再開発計画を継続しており、石上純也氏によるKAIT工房やKAIT広場もある。



メインホテル前水景庭園



### KHOS 清遠ホテル

所在地：中国清遠市 / 敷地面積：168,400㎡  
建築設計：観光企画設計社 / 写真：ニューワールドデベロップメント

KHOSは香港の大手デベロッパー、New World社のRosewood Hotel Groupによるライフスタイルホテルブランド。現在清遠、廊坊、瀋陽の3か所で展開。KHOS清遠ホテルは、清遠の主要観光スポットである古龍峽近郊の温泉高級リゾートとして2020年に開業。